



発行所
日川高校PTA
事務局
山梨市一町田中

日川高校PTA活動を 通じて感じたこと



PTA会長 飯塚 健二

早いもので、PTA役員となり2年半が過ぎました。3年目となりPTA会長となるのは分かってはいたものの、いろいろな行事に参加させていただき大変さを痛感しております。正直、自分自身が日川高校の卒業生でないことからプレッシャーを感じた中ではありましたが、山田校長をはじめ先生方PTA役員・理事、保護者の皆様のご理解、ご協力により何とか大役を務めさせていただいております。この場を借りてお礼申し上げます。

さて、今年度は日川高校において着手されたグラウンドの芝生化が大きな話題です。県内県立高校最初となる魅力ある施設整備が日川高校で行われることは、120年を超える伝統と活躍の歴史により実現したものだと思えます。この整備による地域やOBなどの方々との関りを

大切に、グラウンドの利活用を通して日川高校を中心とした周辺地域の更なる活躍、発展に期待します。

また、先日行われた第58回強歩大会にあたり日川高校の魅力を感じることができました。目的に掲げられた言葉が、「苦難を乗り越えられる強い意志を養い、自己を把握・管理し、行動選択・意思決定ができる能力を養い、感謝を忘れず社会の一員としての自覚を深める。」とありました。夜中から翌日の昼にかけて見た光景は、黙々と走り早々ゴールにたどり着いた生徒、苦しさの中にも笑顔も見せながら走り歩いた生徒、杖を作り途中しゃがみこんでやつとゴールした生徒、途中離脱した生徒、皆、各々が自身の体力、精神力、判断力を発揮し体験した素晴らしい行事だと感じました。この行事で身

に着けた気力体力はこれからの人生において大いに役立つことと思いました。また、ご協力いただいた保護者の数が250名を超える人数だったとのことで、多くの声援サポートを受け、感謝の気持ちも実感できたと思います。



校長 山田 芳樹

日川高校の挑戦と 成果をご報告します

PTAの皆様には、日頃より本校の教育活動に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本校は今年、創立124年を迎えました。「自主自律」の建学精神のもと、時代の変化に対応しながらも、揺るぎない教育理念を貫いてまいりました。現在はSSH（スーパーサイエンスハイスクール）第3期の4年目を迎え、生徒たちは自ら課題を見つけ、主体的に探究する力を育てております。この探究心と自律性こそが日川高校の教育の核であり、生徒一人ひとりの輝きを引き出す原動力となっています。

本年度も、生徒たちは各方面で目覚ましい成果を挙げております。女子ウエイトリフティング

残り半年となり、3年生はそれぞれの進路に向け、2年、1年生は次のステップに向け取り組んでいることと思います。この素晴らしい校風で培ったものをすべて発揮し、「質実剛毅」の精神のもと何事にもトライしてください。

グ部がインターハイ学校対抗で2年連続優勝を果たしたことは、学校全体に大きな感動と誇りをもたらしました。仲間とともに高みを目指し、日々の鍛錬に真摯に向き合う姿は「自主自律」の精神の体現であり、後輩たちにも大きな刺激となっています。文化部では、放送部が全国総合文化祭にて文部科学大臣賞を受賞するという快挙を成し遂げました。企画力・表現力・技術力が高く評価され、日川高校の多様な才能が全国に認められたことは、本校の教育の幅広さと深さを示すものです。

スポーツと文化の両面での全国的な活躍は、地域の皆様にとっても大きな誇りであり、生徒の輝きが地域社会に希望と喜びをもたらしていることを実感して

おります。

また、今年度も恒例の強歩大会を開催し、生徒たちは秋の自然の中を力強く歩き抜きました。仲間と励まし合いながら長距離を踏破する姿は、まさに「自主自律」の精神の実践であり、心身の成長を感じる貴重な機会となりました。保護者の皆様や地域の方々の温かな応援が、生徒たちの背中を押してくださったことに、深く感謝申し上げます。これらの成果は、生徒自身の努力はもちろんのこと、保護者の皆様の温かな支え、そして地域の皆様の応援があつてこそ実現したものです。学校・家庭・地域が一体となって生徒を育てる日川高校の教育の力を、改めて感じております。

さらに、令和8年3月にはグラウンドの人工芝化が実現し、多くの同窓生の皆様からのご支援が寄せられています。この整備は、生徒の活動環境の向上にとどまらず、本校が「県民に開かれた学校」としての使命を果たす重要な取り組みでもあります。地域の皆様に広く活用いただける施設として、日川高校がこれからも地域に根ざした教育拠点であり続けることを目指しております。

今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りながら、生徒一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす教育を推進してまいります。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

PTA事務局日誌

強歩大会を終えて

九月二十六、二十七日に第五十八回強歩大会が行われました。男子は小河内ダムから学校までの六十キロ、女子は柳沢峠から学校までの二十五キロの行程を、それぞれのペースで走・歩行します。厳しい残暑が続く中の大会ということで、昨年同様の暑さ対策として、男子のスタート時間を二時間早め、到着制限時間を男女ともに十二時としました。加えて、今年は全国各地から報告されるクマ被害、その対策についても注意を払いながらの大会でした。こうした伝統ある学校行事の継続には、綿密な計画ときめ細やかな準備が欠かせません。何より、保護者の皆様の御理解と御協力は大きな力となります。今大会におきましても、二百六十名を超える保護者の皆様方に、救護車、交通誘導、巡回、給水、検印所といった様々な業務に御協力いただきました。本当にありがとうございました。それぞれの大変な業務をお願いしましたが、お子様のいきいきとした姿を近くで御覧になることができ、また保護者の皆様が、それぞれに繋がりを実感することができた、楽しい時間であったと感じていただけましたら幸いです。係としまして、今後のPTA活動がさらに活発なものとなることを期待できる機会となりました。皆様の御協力に心から感謝申し上げます。